

PET-CT 検査をご依頼くださる先生方へのご案内

独立行政法人国立病院機構 関門医療センター

【ご依頼くださる先生へのお願い】

^{18}F -FDG のみの検査になります。1 日 3 回に分けて製薬会社から検査薬 (^{18}F -FDG) が発送されます。当日の緊急検査には対応できません。

画像診断、腫瘍マーカー検査が行われており、臨床的に確定診断が得られていることが保険適用の要件となります。

【PET-CT 診療情報提供書記載のお願い】

① 画像診断結果、病理検査結果、腫瘍マーカーの情報について施行年月日と結果をお知らせください。

また、検査当日は必ず貴院で施行された CT/MRI 等の参考画像を、患者さまにご持参いただけるようお願いいたします。

② PET-CT 診療情報提供書には、出来るだけ詳細な傷病名、症状経過、検査結果、治療経過などの記載をお願いします。

また、糖尿病薬についての情報は特に重要であり、空腹時血糖値のご記入と現在服用中の糖尿病薬についての情報をお知らせ下さい。

③検査を行う上で、身長・体重の情報が必要ですので必ず記載ください。

【検査対象患者について】

① PET-CT を受ける患者は原則 ADL が自立している患者（介助を必要としない患者）とさせていただきますのでご確認をお願いします。

② 次の方は検査対象外とさせていただきます。

- ・車椅子護送やストレッチャー担送が必要な患者
- ・認知機能低下の恐れがあり、介護が必要な患者
- ・オムツ交換・トイレの介助等が必要な患者
- ・疼痛コントロール不良や不穏等により、検査中の静止（約 30 分）が困難な患者
- ・待機室での安静（患者のみで 1 時間）ができない患者
- ・挿管中や、全身状態が不安定で急変のリスクがある患者
- ・小児患者（18 歳未満）
- ・バリウムを使用後 1 週間以内の患者

※ ご不明な点がありましたら、当院 RI 検査室へお問い合わせください。

1. 保険適用に関する注意

次の要件を満たす場合に、保険適用となります。費用は約 10 万円で、保険負担割合に応じて自己負担となります。要件を満たさない場合は、自由診療扱いとなりますので、ご確認の上お申し込みくださるようお願い申し上げます。

悪性腫瘍の疑い病名は保険適用外となりますが、病理検査で確定していなくても他の検査で臨床上悪性腫瘍と確定できる場合は保険適用となります。

悪性腫瘍 (早期胃がんを除き、 悪性リンパ腫を含む)	他の検査、画像診断により病期診断、転移、再発の診断が確定できない患者
てんかん	難治性部分てんかんで外科切除が必要とされる患者
虚血性心疾患	虚血性心疾患による心不全患者における心筋組織のバイアビリティ診断 (他の検査で判定のつかない場合に限る) 又は心サルコイドーシスにおける 炎症部位の診断が必要とされる患者

2. 確認事項・患者さんに説明していただきたい点

【説明項目】

① 予約日時について

予約日時に必ず来院すること、もし具合が悪くなって来院できなくなった際はすぐに当院に連絡すること、連絡無しに来院されなかった場合には使用できなくなった薬剤の費用 (45,200 円) を負担していただく場合もある事のご説明をお願いします。

② PET-CT 検査の内容とご説明

18F-FDG というブドウ糖代謝の指標となる放射性医薬品を注射し、体内の放射能の分布を PET-CT 装置で画像化することで、ブドウ糖代謝の盛んな腫瘍や炎症の病巣の診断ができます。(すべての腫瘍が診断できる検査ではありません。)

18F は半減期 110 分と短く、被ばくは微量で放射線障害の心配はほとんどありません。FDG 自体も副作用の可能性は極めて低く、安全な医薬品であることをご理解ください。

③ 検査前の注意事項についてのご説明

- ・ブドウ糖の代謝状態を正しく診断するため、**検査前 5 時間以上の絶食が必要**です。

・ジュースなど糖分の入った飲み物や菓子等の飲食をしないでください。砂糖のっていない水やお茶は自由に飲んでいただいても構いません。

・排尿促進のため、検査時に飲用水 500ml を飲んでいただきます。(検査室にてミネラルウォーターをお渡しいたします)

・前日および当日の運動は筋肉にブドウ糖が集積するため、控えてください。

・点滴をしている方は、ブドウ糖のっていない生理食塩水などに切り替えてください。

・当日は、糖尿病薬の服用は出来ません。

④ 検査当日の流れは以下の通りです

◇ 検査予約 15 分前には来院していただき、受付後に RI 検査室へお越しください。

◇ 検査前に、問診や血糖値の測定を行い、18F-FDG を静脈注射します。

◇ 静脈注射した 18F-FDG が撮影に適した状態になるまで、約 1 時間待機室で安静にします。

(安静時間中の食事、運動や読書、音楽などの鑑賞は不可です。)

◇ 薬剤は尿に排泄されるため、トイレで排尿した後に撮像を行います。きれいな画像を撮像するために、注射後に水分を摂っていただき、頻りにトイレに行き、膀胱の集積を低くします。

◇ 撮影時間は約 30 分です (早期相)。

◇ 再び、待機室内で安静にしていいただき、30 分後に後期相の撮影を行います。

⑤ 料金 (検査の総額で約 10 万円、自己負担割合 3 割の場合 3 万円前後) についてもご説明下さい。保険適用外の検査では、総額のお支払いになります。

⑥ 予約時間に遅れて来院された場合、絶食を忘れた場合、血糖コントロールが不良で検査時の血糖が高すぎる場合は検査中止になることがあります。

⑦ 交通事情による薬剤輸送障害などによる検査時間の遅れ、延期、中止もありえますので、ご了承下さい。

⑧ 他の方の無用な被ばく防止のため、当日は外来の診察や他の検査は出来ません。

⑨ 検査後もごく微量ではありますが放射線が出ていますので、注射から 6 時間ほどは放射線感受性の高い幼児や、乳幼児との接触は念のためにご遠慮ください。検査の翌日は、普段どおりで差支えありません。

【確認・留意事項】

- ① 糖尿病で空腹時血糖値が 200mg/dl 以上の場合、検査できません。その場合、検査時に 200mg/dl 以下になるように、管理をお願いします。但し、検査前にインスリン使用は避けてください。
- ② 糖尿病の方は、血糖値の安定性などの観点から午前中早めの時間帯での予約としています。当日は起床時より絶食とし、血糖降下剤やインスリンの使用は中止してください。インスリンの中止が困難な方や血糖値が不安定な方は、前もって内分泌・糖尿病科医師にご相談下さい。
- ③ 患者さんの同意を得たうえで、同意書の署名をいただいでください。
- ④ 「問診票・同意書」は予約時にすべて記入していただき、地域連携室まで FAX にて送付してください。

3. 検査のお申し込み方法

検査の予約に関しては、所定の予約申し込み書にて予約をお取りください。

- ① 予約の変更、キャンセルがありましたら、速やかにご連絡ください。
- ② 当院では薬剤の院内製造は行っていないため、至急の検査には対応できません。
- ③ 必ずしもご希望の日時に検査できるとは限りませんのでご了承をお願いします。

今後、保険適用の変更、診療報酬の改定、予約など、上記の内容が異なってくることもあります。他、もし何か疑問な点がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

独立行政法人国立病院機構 関門医療センター

検査に関すること…中央検査室 RI 検査室
TEL 083-241-1199 〈代表〉 内線 (1650)
検査予約に関すること…地域医療連携室
TEL 083-241-1199 内線(1500)
FAX 083-241-1302